

しあわせのレシピ
川上 信一

私は渋谷の霊盗坂の上でビッグイシューさんの本を販売させていたたりている者です。今は夢を持つて生きていきますが、辛い事、悲しい事もありました。它のおかげで大事な事に気付かされたと思います。人を思いやりたり。感謝する気持ちが必要です。料理には、苦みや、辛みや、色んな味が含まれる方がおいしいと思いません。人生も料理と同じで、辛い事、悲しい事があるから

こそ、人のやさしさや、温たかみが身にしみるのではないでしょうか、路上に立っている人と、いろいろな方が声をかけて下さいます。すごうれしいですし、人がばるうと言いう気になります。它た、ビッグイシューのスタッフのやさしさ、本が売れり売れぬいと心配して下さったり、日常生活の事などに色々気付かして下さり、まるで家ぞくのように、本当に感謝してります。私は、気分がすぐれない時は、感謝できる事をたくさん教えて思いうかが

べるようにしてあります。人の幸せをいのち
り、感謝する時間を、ふやすと人生はもっと
おいしくなると思います。最後になりました
が私はとにかく感じる人間ではあり
思いますが、お気軽に声をかけて下さい。
みなさんの人生がもっとおいしくなりますよ
うた、いのちです。

講評

川上さんの「しあわせのレシピ」の極意は、「気分がすぐれない時は、感謝できることをたくさん数えて思いうかべる」というところですね。ぼくも試してみたいと思います。川上さんの人生という料理の苦みや辛みは、どんなものなのでしょうか。最後に「私はそんなに感じのわるい人間ではないと思いますので」とありますが、文章全体から、川上さんの感じのよさがにじみ出ていますよ。

(選者・星野)